



はじめに

表記法

コマンドライン インターフェイス (CLI) 構文の記述では、次の表記法を使用します。

- コマンドおよびキーワードは、**太字**で示しています。
- ユーザが値を指定する引数は、*イタリック体*で示しています。
- 角カッコ ([]) の中の要素は、省略可能です。
- 必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、波カッコ ({ }) で囲み、縦棒 (|) で区切って示しています。
- 任意で選択する要素の中で、必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、角カッコと波カッコで囲み、縦棒で区切って ([{|}) 示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。

- 端末セッションおよびシステムの表示は、screen フォントで示しています。
- ユーザが入力する情報は、**太字の screen** フォントで示しています。
- パスワードやタブのように、出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

**注意**

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**警告****安全上の重要事項**

「**危険**」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保存しておいてください。

関連資料

管理アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) およびエンドポイント ソフトウェア 開発キット (SDK) に関する情報を提供するパートナー企業のドキュメントは、Cisco Developer Network (<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>) で入手できます。

- *Cisco EnergyWise* マニュアルのロードマップ
- 『*Cisco EnergyWise Partner Development Guide*』
- 『*Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the End Point SDK*』
- 『*Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the Management API*』
- 『*Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2*』

Cisco Developer Network でのマニュアルとサポートの入手

シスコのパートナーは、Cisco Developer Network (<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>) に参加することにより、EnergyWise のマニュアル、API および SDK ソフトウェア コード、および Cisco IOS ソフトウェアにアクセスできます。

Cisco Developer Network および TAC の EnergyWise リソースにアクセスするには、サポート契約およびライセンスが必要です。ライセンスを登録したビジネス開発マネージャは、適切なアクセス権限を持つ Cisco.com アカウントを設定する必要があります。

Cisco Developer Network のフォーラム、Wiki、およびリソースは、EnergyWise アプリケーション開発者およびプログラマを対象としたセルフヘルプ ナレッジ ベースおよびコミュニティを提供します。TAC Service Request Tool (<http://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/create/launch.do>) で事例を開くと、追加のサポートを受けることができます。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

